

月堂見聞集

二十八

漫録

					和書門
				三四九七	類
			一〇	函	
		二九	冊		

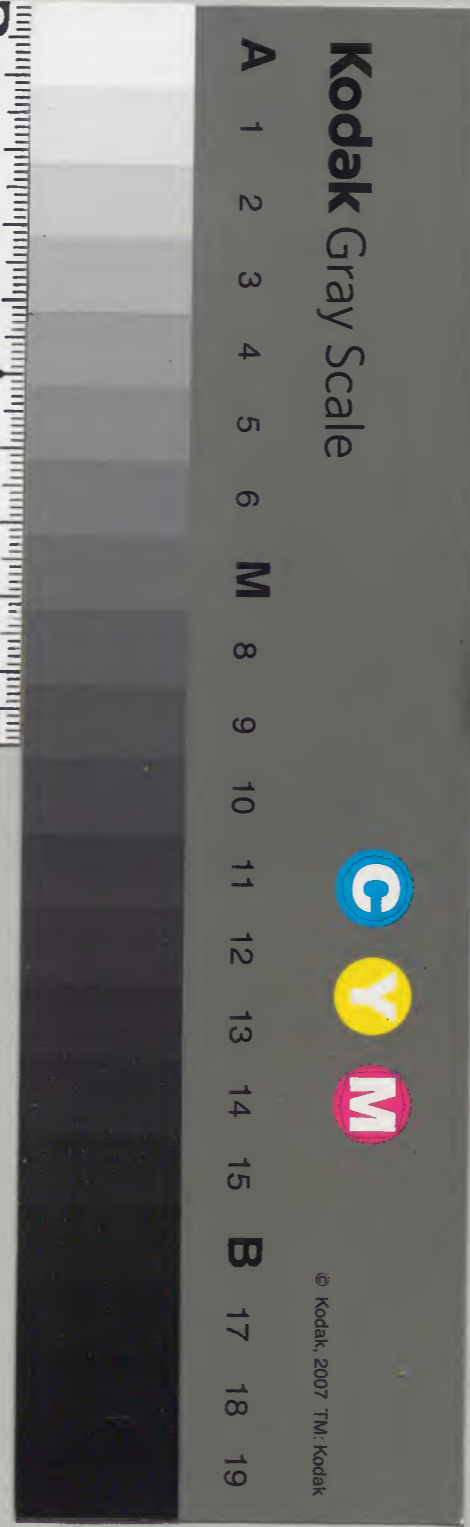
庫	文	閣	内
二九〇	函	二九	冊
		三四三九七	號
			類
			和書

内閣文庫	
番號	和 3-397
冊數	29 (28)
函號	150 1363

第一

000117

共廿九



綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

[Faint, illegible handwritten text in vertical columns, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

[This page is mostly blank with some faint horizontal lines and minor stains.]

佛光寺西京月記列

鷹峰出火事

龍虎君江戶日向

比羅衣即誕生時獻上法事

聖德洗宮即入寺行列

比羅衣即舞祀事

西田殿寺二十宗事

廿五國筋寺即宗元即入事

禁裏殿即八海一武事

弘法大師八百餘年事

佛列天主寺修復寺日中國寺社印圖事

西雄山天皇事

法水地之御旅所御事

郡山甲斐寺久事

道明寺國後入形後祀宗

西宮寺神光寺身履祀事

道備田前即元服事

大圓寺中堂普化事

東中殿寺三門造立事

中院通好云宮元服事

西堂表石之狂病甘事

大覚寺院東寺拜堂

庚申御禮位寺畑文事

見聞集卷二十八

延享保十八日六月
三月十九年寅月

六月十一日

西新家方

中印通之系下几事 御田代再明事 廣建也并三具壞現

報佛 大印寺 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事

寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事

寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事

寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事

寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事

寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事

寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事 寺事



以御里坊三轉侍御使是正判御名 日侍奉人有
也相叙八百人系燒出之登船也

侍口 奉花中幡内也 御色布衣 侍口 御下 士願七人
侍口 侍口 侍口 侍口 侍口 侍口 侍口 侍口 侍口 侍口

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

童子二人 童子一人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人
童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人 童子二人

列三奉之例也堂方分行列也...也西門之...
...佛之...
...日之...

六月 日...
六月十八日...
...

...

...

...

...

同日

...

...

六月廿七日

六月廿七日... 雷甚多... 火作... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日... 雷雨... 自然... 静...

六月廿七日

去之役の事は現存の書に記入礼方...
あつたに道中...
河段不入礼投有...
りた極多也

七月の福

一 一

修野番人

一 一

四年坊主古辰

一 一

一 一

以

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

おのやちりちりおのやちり

一月八日 漢の... 子... 楼... 山... 東... 山... 山...

二月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

三月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

四月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

五月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

六月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

七月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

八月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

九月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

十月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

十一月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

十二月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

松の... 山... 山... 山... 山... 山...

山...

七月九日... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

二月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

三月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

四月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

五月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

六月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

七月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

八月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

九月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

十月... 山... 山... 山... 山... 山... 山...

烏丸山系古了中道古馬成

中道通之原如入町内成東

油中成後如以下町

烏丸成中道地之新

中道下三堂下見町

寺河中系古了町下不西側三海成原者成地也

中系古了町新町如入町古了成地成地也

壬生寺の旧村中成地也

中系山成地成地成地成地也

中系成地成地成地成地也

大佛成地成地成地成地也

成地成地成地成地也

七月十日口觸

佛笥入道前月府幕成地也今成地成地也

中系成地成地成地成地也

佛笥前月府幕成地也

今上宣帝中成地成地成地也

七月十日東福寺成地成地成地也

七月十日成地成地成地也

七月十日成地成地成地也

七月十日成地成地成地也

七月十日成地成地成地也

七月十日成地成地成地也

六月十八日成地成地成地也

六月十八日 長崎中山方極早景雲形為遷化

七月五日 廣山寺之掃司前田府子奉葬古也念夜所
為德月亦不夜所葬形式也 即墳地廣山寺惣墓
所ノ北約西ノ極ノ東ノ中ノ平地原ノ方極長ノ三ノ尺
幅ノ方極在德月ノ廣ノ在ノ具上ノ宝塔建之 前日相府
成是院入道大藏是宜云云位

七月十八日 時方之雷在東師寺所西ノ中側葬葬在
東ノ方極大空極一人ノ性義リ

大坂皇始時行ノ民神孫不廿多之上親之云方寺之云
町ノ八九ノ不舟士人位ノ云ハ十ノ上ノ切ノ云ノ皆然

佛ノ七月十五日之并合佛形數多ノ皆方極年八十
菜守ノ好ノ云人ノ有氣約奇町ノ云何ノ痛也ノ云云

有七般カレ切人云云是片寺野外味ノ有方極百ノ云云
戸街海ノ方極ノ云云ハ云ノ事云云ハ云云何百ノ云云

一 七月五日 雲裡ノ勅後リノ殿ノ云云度月形ノ依リ人
氏有リ失レノ云ヤリノ極長ノ伊ノ云云ノ極長ノ云云依リ

別朝ノ即ノ云ノ執行ノ身極孔ノ殿ノ云云云 雲裡ノ
奉納ノ也

一 今度ノ依知極即長年ノ身ノ中ノ寺ハ目ノ云云極ノ長年
有リ極長年ノ身ノ云云ノ相聞極長年ノ身ノ極長年ノ身ノ

リ事

一 七月十日 廣野極長年ノ身ノ極長年ノ身ノ云云
一 日ノ身ノ入今今度西門ノ極長年ノ身ノ極長年ノ身ノ

一 入極長年ノ身ノ極長年ノ身ノ云云
一 極長年ノ身ノ極長年ノ身ノ云云

西軍流及後其... 信濃國... 山崎... 首領...

一 信濃... 山崎... 首領...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

七月廿五日 觸

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

七月

一 七月廿五日 刑罰者

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

西軍押入... 信濃... 山崎...

一 七月廿五日 海軍院方...

西軍押入... 信濃... 山崎...

七月十八日 福

- 大竹目通に定り八月五日 五印寺 伏在
- 大竹目通に定り七月廿日 三印寺 伏在
- 大竹目通に定り守り廿日 三印寺 伏在
- 大竹目通に定り廿日 三印寺 伏在
- 石三條御所内御後夜より廿日迄 三印寺 伏在
- 御門外市山内迄入札持参 三印寺 伏在

以て

六月廿二日 郡山坐平甲斐守内 家中騒動事 江戸台目守

一人

西田河皮

一人

五月廿

一人

江戸台目守

品取人 寺首

一人

一色在平 寺首 旨心

一人

江戸 寺首

吾印日高 一色在平 寺首

江戸御所 寺首

八月四日 福

一 皇元院 保親 御一周年 天明 寺首 御一周年 御一周年

一 寺首 御一周年

一 寺首 御一周年

一 寺首 御一周年

以て

八月廿二日 皇元院 保親 御一周年 天明 寺首 御一周年 御一周年

御一周年 御一周年 御一周年

一 可九日進路乃山形志以...

一 八月八日...

一 八月二十日...

一 八月二十日...

一 八月二十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

一 七月十日...

於奉利白宮師一人所為幾社庭仁平伏之天祝
言於奉利神樂於禰之天愈天下長久乃願於告
須以前神馬乃顯人神馬不見乃由於五月三日仁告
久不審不用忽仁六月十七日之夜神馬故館背甚
復須神勅之卦達上聞被露奉仰候

丑六月十九日

仰祝中

內宮長官
正三位上銚社官

宮士仇守

源有久判

延四位出中善久史

右上方六月廿一日著
左中上指以浪極收拜領
同廿七日所代奉

白山下總守

仰神樂科

吳全極及

仰之戶
仰神馬科全之及

大納言保分御代表

算新三郎

仰神樂科

吳全極及

仰之戶
仰神馬科全之及

其東表 奉圖 高日

後四位松倉來女

初使

上條中納言

源厚之位

仰禮帶

仰神樂科

浪廿及

仰極東

源

祭礼科

祭壇十條

原通無相遺り糸笠御用

以上 会社証文

此後未一交其或是上二或ハ非トス加藤事由實仇無一有也

七月十五日即行觸発

他ハ觸ハ五多也

一 當四月神政を修飾人美富人ハ以テ神ノ内邪を御
災ニ呈杯神中ハ以テ之ノ後ニ有リ事ニテハ此ノ事ニ
付ルニ及及ハ此ノ事ニテハ事ニテハ事ニテハ事ニテハ

一 際通言唐系ノ入也雲手和南極トハ神ノ内邪ニ
ハ呈杯ノ後ハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ
物ノ雲水主功ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ
而天紀所御用全用工ノ為則ハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ

在通御用ハ中系ノ事ニテハ事ニテハ事ニテハ事ニテハ
進行事所ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ

一 先七月比ハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ
神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ
神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ
神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ
神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニハ神ノ内邪ニ

八月十日觸

一 系五子百七條在在 子事表白多居止江駿河

母皮出向

在江大坂山宮延理根山雲神ノ入礼也

一 終少所不玉道... 既... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 八月十日... 既... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一 既... 入... 入... 入... 入...

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

八月二十日

江品源安那通子大谷関守馬場村石中村石根
山松平山并 成 石中村石中並 石中村石中
根根守入札に徳来几十九。石中村石中守石中守
石中守家持信人石中守石中守石中守

石中

八月二十日 重元院様御書 石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守

石中守石中守石中守

同日石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守

石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守

八月二十日

石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守

石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守
石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守

今度石中守石中守石中守石中守石中守石中守石中守

此等事之節在例、依て、此の事は、山崎氏之ノ所
長行、道に玉物、のり、物、作、り、其、ノ、實、に、割、り、以、て、其、ノ
指、の、竹、根、之、所、在、首、帯、ヲ、引、行、ヲ、指、テ、印、ヲ、長、徳、三、行
入、口、人、之、上、十、方、の、山、上、大、名、方、の、能、之、若、者、之、八、口
等、刀、脇、指、姫、名、に、唐、後、三、重、白、羽、之、一、重、而、由、之、也
衣、則、之、也、也、望、以、其、事、ヲ、出、り、
在、山、水、故、事、也、 勅、使、出、行、治、州、住、法、師、

八月廿二日

子年、西、國、表、田、作、出、入、ノ、事、
石、の、取、り、及、び、其、ノ、現、存、ノ、事、
解、由、道、道、道、ノ、事、
田、作、ノ、事、
此、等、ノ、事、

八月廿二日 日、侍、所、の、故、事、
後、第、二、日

子年、西、國、表、田、作、出、入、ノ、事、
一、今、年、の、事、
二、昔、の、事、
三、此、等、ノ、事、
四、其、ノ、事、
五、其、ノ、事、
六、其、ノ、事、
七、其、ノ、事、
八、其、ノ、事、
九、其、ノ、事、
十、其、ノ、事、
十一、其、ノ、事、
十二、其、ノ、事、
十三、其、ノ、事、
十四、其、ノ、事、
十五、其、ノ、事、
十六、其、ノ、事、
十七、其、ノ、事、
十八、其、ノ、事、
十九、其、ノ、事、
二十、其、ノ、事、
二十一、其、ノ、事、
二十二、其、ノ、事、
二十三、其、ノ、事、
二十四、其、ノ、事、
二十五、其、ノ、事、
二十六、其、ノ、事、
二十七、其、ノ、事、
二十八、其、ノ、事、
二十九、其、ノ、事、
三十、其、ノ、事、
三十一、其、ノ、事、
三十二、其、ノ、事、
三十三、其、ノ、事、
三十四、其、ノ、事、
三十五、其、ノ、事、
三十六、其、ノ、事、
三十七、其、ノ、事、
三十八、其、ノ、事、
三十九、其、ノ、事、
四十、其、ノ、事、
四十一、其、ノ、事、
四十二、其、ノ、事、
四十三、其、ノ、事、
四十四、其、ノ、事、
四十五、其、ノ、事、
四十六、其、ノ、事、
四十七、其、ノ、事、
四十八、其、ノ、事、
四十九、其、ノ、事、
五十、其、ノ、事、
五十一、其、ノ、事、
五十二、其、ノ、事、
五十三、其、ノ、事、
五十四、其、ノ、事、
五十五、其、ノ、事、
五十六、其、ノ、事、
五十七、其、ノ、事、
五十八、其、ノ、事、
五十九、其、ノ、事、
六十、其、ノ、事、
六十一、其、ノ、事、
六十二、其、ノ、事、
六十三、其、ノ、事、
六十四、其、ノ、事、
六十五、其、ノ、事、
六十六、其、ノ、事、
六十七、其、ノ、事、
六十八、其、ノ、事、
六十九、其、ノ、事、
七十、其、ノ、事、
七十一、其、ノ、事、
七十二、其、ノ、事、
七十三、其、ノ、事、
七十四、其、ノ、事、
七十五、其、ノ、事、
七十六、其、ノ、事、
七十七、其、ノ、事、
七十八、其、ノ、事、
七十九、其、ノ、事、
八十、其、ノ、事、
八十一、其、ノ、事、
八十二、其、ノ、事、
八十三、其、ノ、事、
八十四、其、ノ、事、
八十五、其、ノ、事、
八十六、其、ノ、事、
八十七、其、ノ、事、
八十八、其、ノ、事、
八十九、其、ノ、事、
九十、其、ノ、事、
九十一、其、ノ、事、
九十二、其、ノ、事、
九十三、其、ノ、事、
九十四、其、ノ、事、
九十五、其、ノ、事、
九十六、其、ノ、事、
九十七、其、ノ、事、
九十八、其、ノ、事、
九十九、其、ノ、事、
一百、其、ノ、事、

一 横江一國の事... 其村倉の事
... 長百粒之類... 出通
... 又八寶... 其...
... 平生... 眞耶... 行... 出...
... 時... 他... 令... 後... 行...
... 統... 令... 後... 行...
... 令... 又... 行... 出...
... 行... 出...
... 令... 行... 出...
... 令... 行... 出...

一 約... 令... 行... 出...
... 令... 行... 出...
... 令... 行... 出...
... 令... 行... 出...
... 令... 行... 出...

あし月

一 享保十八丑年 卯... 卯... 卯...

卯... 卯... 卯...

卯... 卯... 卯...

二 隆...

卯...

卯... 卯... 卯...

二條之衣

十方尺以上

三條之衣

十方尺以上十枚

四條之衣

十方尺以上

五條之衣

十方尺以上十枚

六條之衣

十方尺以上

七條之衣

十方尺以上

八條之衣

十方尺以上

九條之衣

十方尺以上

十條之衣 十方尺以上 十枚 十枚以上 十枚以上

十一條之衣

十二條之衣 十方尺以上 十枚 十枚以上 十枚以上

十三條之衣

十四條之衣 十方尺以上 十枚 十枚以上 十枚以上

十五條之衣

十六條之衣

十七條之衣

十八條之衣 十方尺以上 十枚 十枚以上 十枚以上

十九條之衣 十方尺以上 十枚 十枚以上 十枚以上

二十條之衣

二十一條之衣

二十二條之衣

二十三條之衣

十方尺以上 十枚 十枚以上 十枚以上

十方尺以上

御簾中候

六万石

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

十卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

御巻物

白紙

三卷

石河通舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

八月廿七日

一 米子池を渡る事 子年母後出羽

石河通舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日
米子池を渡る事 子年母後出羽
舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

八月廿七日

一 八月廿七日舟中記述之書及家傳之書

舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

一 舟中記述之書及家傳之書

舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

一 八月廿七日舟中記述之書及家傳之書

舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

一 當年夏、以凡邪を以て人民痛一統

當年夏、以凡邪を以て人民痛一統
舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

當年夏、以凡邪を以て人民痛一統
舟中記述之書及家傳之書
白紙の字也 丑八月廿七日

九月廿七日

一 舟中記述之書及家傳之書

事久入心也之入 出役所 待長信 預被仰候

八月廿九日 福

町代

一 全被前より多る及て同前商賣人ナ

一 今市町より多る及て同前商賣人ナ

一 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

以上

一 八月晦 暖氣川に陸出有る三台由津少船上候人ナ

一 今市町より多る及て同前商賣人ナ

一 十月迄懐重印に申上通平川に通水八月五台江平表

一 大風吹テ川に波多ク被仰候事

一 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

一 振舞御用候に候に 今上帝御養子ナリテ 持御川御白子

一 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

一 九月八日 院前之室迄に御用候事ナ

一 武者中候実陸御。 今上帝と平尔葉御所候事ナ

一 馬の病候金多枚の拜願候。 武者川に 堂上各御祝事ナ

一 以上

一 此後 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

一 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

一 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

一 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

一 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

一 此後此の御用は別浪に被仰候事ナ

一 九月十日 夜八台子大座守候内と申付三朝候事

一 同日去國訪 勅使 使大寺実富師

一 同十五日元春の如堂石不動其卯靈佛開帳 勅使召使

一 當年 將軍家共仰冥堂上社被被願

一 御製一首 別家 勅使為侍遊年

九月十三日續

一 御召遣中務卿為中務卿後事 以召至之云云云云

一 同日七日内中御通九可上之而中身主使完 亦得信人

一 以御召遣後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 亦召之召之召之 子事母後

一 在乃後召遣中務卿後事 入札召之召之召之

一 御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事

江上

一 本年御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事

江上

一 九月十日御召遣中務卿後事

一 御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事 以如收写其同中身後而御使不後

一 御召遣中務卿後事

早書同所 全度心念

以有女弟之候子數山等

一 九月十日 夜 諸君林心庭 山等 二十日 山等 山府 山者
後段人 瓦馬 山等 山等 山等 山等 山等 山等

一 九月廿一日 午 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等 山等

三上戸御出
水口雅樂助
乃後守
乃後守
乃後守

三宮御出
御出
御出
御出
御出

信奉平兼持
御出
御出
御出
御出

諸人
御出
御出
御出
御出

鹿渡云御出
御出
御出
御出
御出

園
御出
御出
御出
御出

上條中細言馬御出
御出
御出
御出
御出

阿野宗相實御出
御出
御出
御出
御出

梅園之使久季御出
御出
御出
御出
御出

御出
御出
御出
御出
御出

御出
御出
御出
御出
御出

御出
御出
御出
御出
御出

御出
御出
御出
御出
御出

御出
御出
御出
御出
御出

御出
御出
御出
御出
御出

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿七日... 九月廿七日... 九月廿七日...

九月廿九日... 復院門... 得慶後... 即日...

雞屯 山伏十人 侍 山伏十人 侍 山伏十人 侍

白下 侍 山伏三人 侍 山伏三人 侍 山伏三人 侍

御典 一人 侍 一人 侍 一人 侍 一人 侍

侍人 一人 侍 一人 侍 一人 侍 一人 侍

侍人 一人 侍 一人 侍 一人 侍 一人 侍

以上

九月廿九日... 復院門... 得慶後... 即日...

同慶八月... 復院門... 得慶後... 即日...

九月廿九日... 復院門... 得慶後... 即日...

九月廿九日... 復院門... 得慶後... 即日...

九月廿九日... 復院門... 得慶後... 即日...

九月廿九日... 復院門... 得慶後... 即日...

九月廿九日... 復院門... 得慶後... 即日...

九月廿九日... 復院門... 得慶後... 即日...

- 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
- 一 上長石町新町西ノ△形田也
- 二 中条町身所西側ニ新田あり
- 三 東六條町西ノ△形田也
- 四 伊豆新町九ノ目南側ノ△形田也
- 五 大井九ノ目南側ノ△形田也
- 六 大井津村南ノ△形田也
- 七 岩神通田南側ノ△形田也
- 八 石野寺南側院南ノ△形田也
- 九 河原町通田南側ノ△形田也
- 十 大井町南側ノ△形田也
- 十一 後中條町南側ノ△形田也
- 十二 生保町南側ノ△形田也

二ノ箱

- 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二
- 一 上長石町新町西ノ△形田也
- 二 中条町身所西側ニ新田あり
- 三 東六條町西ノ△形田也
- 四 伊豆新町九ノ目南側ノ△形田也
- 五 大井九ノ目南側ノ△形田也
- 六 大井津村南ノ△形田也
- 七 岩神通田南側ノ△形田也
- 八 石野寺南側院南ノ△形田也
- 九 河原町通田南側ノ△形田也
- 十 大井町南側ノ△形田也
- 十一 後中條町南側ノ△形田也
- 十二 生保町南側ノ△形田也

三ノ名

- 一 新町之系上之寺一権五郎
- 二 杉原新町之系上之寺一権五郎
- 三 白川之系上之寺一権五郎
- 四 杉原新町之系上之寺一権五郎
- 五 江原新町之系上之寺一権五郎
- 六 二條川東新町之系上之寺一権五郎
- 七 頂上寺新町之系上之寺一権五郎
- 八 富田南町之系上之寺一権五郎
- 九 祇園新町之系上之寺一権五郎
- 十 七条高丸之系上之寺一権五郎
- 十一 祇園新町之系上之寺一権五郎
- 十二 一貫所新町之系上之寺一権五郎

一 新町之系上之寺一権五郎
 二 杉原新町之系上之寺一権五郎
 三 白川之系上之寺一権五郎
 四 杉原新町之系上之寺一権五郎
 五 江原新町之系上之寺一権五郎
 六 二條川東新町之系上之寺一権五郎
 七 頂上寺新町之系上之寺一権五郎
 八 富田南町之系上之寺一権五郎
 九 祇園新町之系上之寺一権五郎
 十 七条高丸之系上之寺一権五郎
 十一 祇園新町之系上之寺一権五郎
 十二 一貫所新町之系上之寺一権五郎

一 十月廿四日山門大之系上

新使

今出所之系上之寺一権五郎

一 今度新町之系上之寺一権五郎
 二 杉原新町之系上之寺一権五郎
 三 白川之系上之寺一権五郎
 四 杉原新町之系上之寺一権五郎
 五 江原新町之系上之寺一権五郎
 六 二條川東新町之系上之寺一権五郎
 七 頂上寺新町之系上之寺一権五郎
 八 富田南町之系上之寺一権五郎
 九 祇園新町之系上之寺一権五郎
 十 七条高丸之系上之寺一権五郎
 十一 祇園新町之系上之寺一権五郎
 十二 一貫所新町之系上之寺一権五郎

十月廿四日觸

一 弟四十八百の修心案 子年五祀

在方故の修心案現段の空押入れ有、少る未七。の
可の時進道心案、修心案並に在修心八字の時未七。の修心
向方少段の修心案有、少る未七。の修心案修心八字の時未七。の
修心案の修心案也

一 弟六十八百の修心案 子年五祀
一 弟七十八百の修心案 子年五祀

在方故の修心案現段の空押入れ有、少る未七。の
可の時進道心案、修心案並に在修心八字の時未七。の修心
向方少段の修心案有、少る未七。の修心案修心八字の時未七。の
修心案の修心案也

一 弟九十八百の修心案 子年五祀
一 弟百十八百の修心案 子年五祀

十月九日觸

一 弟百十八百の修心案 子年五祀
一 弟百十八百の修心案 子年五祀

此上

一 弟百十八百の修心案 子年五祀

印時段一三

印時段一三

印時段一三

一 弟百十八百の修心案 子年五祀

水ノ尋ノ事

十月九日觸

- 一 先通告普作舟車ノ事也停止ノ事相觸ルハ其ノ事ナシ
- 一 近停止付ノ事也中此即ノ事觸ル也 此ノ事
- 一 十月九日辰九ノ事也中此即ノ事觸ル也中此即ノ事也

十月十一日觸

- 一 先通告中此即ノ事觸ル也
- 一 十月七日中此即ノ事觸ル也
- 一 同八日中此即ノ事觸ル也
- 一 同十日中此即ノ事觸ル也

水ノ尋ノ事

同月十日中此即ノ事觸ル也

十月十日中此即ノ事觸ル也

同月十日中此即ノ事觸ル也

十月十日中此即ノ事觸ル也

同月十日中此即ノ事觸ル也

十月十日中此即ノ事觸ル也

門下

一 相侯上納言海修の息通侍左衛門尉藤原朝子
一 相侯御侍左衛門尉藤原朝子
信守の御息女氏云り

十月十五日觸

一 大津守藤原朝子
一 大津守藤原朝子
一 大津守藤原朝子
一 大津守藤原朝子

一 弟四子八百丸云云 子年出記

一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記

一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記

一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記

以上

一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記
一 弟四子八百丸云云 子年出記

古き外役人花枝多法年久遠度 似るを蘇る少く毎々中約
その時後復得て少く之れを信じて他之信具より人々運下
事之如く多し人々事之如く多し人々事之如く多し人々事之如く多し
入

一 十箇分の定之印法事神り也

印法者 蓬田院智岸直意方婦

其の所儀り細ノ中申す也

一 十箇分の定之印法事神り也

一 十箇分の定之印法事神り也

一 十箇分の定之印法事神り也

一 十箇分の定之印法事神り也

抄上

十月十日の解

一 弟の八百の御方なる余 子年出り

一 弟の八百の御方なる余 子年出り

一 弟の八百の御方なる余 子年出り

一 弟の八百の御方なる余 子年出り

一 弟の八百の御方なる余 子年出り

一 弟の八百の御方なる余 子年出り

一 弟の八百の御方なる余 子年出り

一 弟の八百の御方なる余 子年出り

信也伝上書

何處何人分

非何處何人 好何人

町代信信坊

何處通何一町事何誰事

町代信信坊

何處通何一町事

町代信信坊

光

一 弟九子首の事 子年 出羽甲斐

一 石川波の事 現住の事 押入の事 (以り母は九子首の事)

一 何處通何一町事 何處通何一町事 (以り母は九子首の事)

一 何處通何一町事 何處通何一町事 (以り母は九子首の事)

一 光 五月 光

一 六月朔の事 通何一町事 中院南東朝也

一 同日町 何處通何一町事 何處通何一町事

一 同日の事 何處通何一町事 何處通何一町事

一 七月七日 東福寺 何處通何一町事 何處通何一町事

何處通何一町事

十一月六日 觸

一 何處通何一町事 何處通何一町事 何處通何一町事

一 何處通何一町事 何處通何一町事 何處通何一町事

一 何處通何一町事 何處通何一町事 何處通何一町事

一 何處通何一町事 何處通何一町事 何處通何一町事

一 何處通何一町事 何處通何一町事 何處通何一町事

一 何處通何一町事 何處通何一町事 何處通何一町事

何處通何一町事

一 此作君様御座候事候に候りて申上候事候に候

一 當上御座候紙百枚申上候事候に候

一 上月朔日御座候事候に候りて申上候事候に候

一 於此口御座候事候に候りて申上候事候に候

一 此御座候事候に候りて申上候事候に候

十一月廿六日觸

一 四百兩申上候事候に候りて申上候事候に候

一 七百兩申上候事候に候りて申上候事候に候

一 八百兩申上候事候に候りて申上候事候に候

一 公行申上候事候に候りて申上候事候に候

一 申上候事候に候りて申上候事候に候

一 馬車申上候事候に候りて申上候事候に候

此御座候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候
申上候事候に候りて申上候事候に候

以上

一 十月廿四日 御座候事候に候りて申上候事候に候

一 西九月廿五日 御座候事候に候りて申上候事候に候

一 十月廿六日 御座候事候に候りて申上候事候に候

一 十月廿七日 御座候事候に候りて申上候事候に候

一 十月廿八日 御座候事候に候りて申上候事候に候

一 十月廿九日 御座候事候に候りて申上候事候に候

一 十月三十日 御座候事候に候りて申上候事候に候

印馬帽子

印馬帽子

印裡髮

東多石中將通禮

一 上段印入用令書表按但法公報方中事方表方年
一 多子山法長金脚七由
一 同上白向并印珍書度中國愛山山司代神方印入山後
一 食後羅子より

十一月十日觸

一 承八公官方触公余 子年五方力之書度指内
一 在方方後の形現限段の書解入札有（以方年七十方）
一 解方時の通の形之形類年九唐歷上（以方時方指後
一 法方之形使入札有（以方年七十年）方方人通無紙
一 類方觸方之 以之

一 同上方の形触方門之方之方書書之方所和指山書食應
一 印の形触方より触方形及觸方より

一 十一月十日 以形書報方中判報方印等

一 齋性院 兼方書院 書院院 口庭門
一 法然院 中法院 教受院 兼方書院
一 石山傳守今上守之入判報方印

一 多子山法長金脚七由

一 中丸 口あり 口あり

一 中丸 口あり 口あり

一 中丸 口あり 口あり

一 中丸 口あり 口あり

一 石山傳守今上守之入判報方印
一 指方中法長金脚七由

一 石山傳守今上守之入判報方印
一 石山傳守今上守之入判報方印

年号 時 地

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇

刀氏都下ノ街談ニ記ス

一 當ノ十月十七日 東山院尊儀三十五ノ御忌ニ仰入講シ
清涼殿ニ可被行テ 證義ノ南都ニ移院尊親王タ
レト 勅下アリ山門ノ大衆ノ云青蓮院或妙法院ハ此ニ
塔ノ座主也亦向致スレ南都初山ノ座主アリ此跡追
逐ニテラハ下山ス(カラフトト)
一 勅詔重シ一山門申分モ動シカク傳喜元寇ヤ角所
評義最中ノ凡聞人但山門南都兩派ニテ執行致スル事
仰入講ノ先例自享子ニ年丙寅自九月十七日至廿二日高
光院三十二年仰進善於清涼殿被修法華ノ講堂
年云云ノ四十八年云

一 十月十八日庚亥刻 日侍所新殿道畢ニテ遷宮

當ノ十月十八日庚亥刻 日侍所新殿道畢ニテ遷宮
了ノ事被記中 此ノ人犯ルニ注ルハ初視
字體ノ變ニテ左ノ高橋子ニ傳衣

一 十月十七日 東山院被中ニテ仰進云上ノ事此法死後

一部 上ニ居テ 傳衣ノ事 泉涌寺ノ御牌前ノ備法由也
一 候ハ妙法ノ今度仰入講 被用也

一 十月十二日 中興寺噴ノ能リノ狂言役者

東廣 毫末子 勅後 但身子 再改年 夏云
云云連被 即事

十月十七日觸

一 天皇在在 二年御品 御品 云云

右ノ事沙彌宗ノ皇ノ宣稱入レ有リ 皇ノ宣稱入レ有リ
近御宗ノ事ハ宣稱入レ有リ 宣稱入レ有リ 宣稱入レ有リ
一 天皇在在 二年御品 御品 云云

う月曜の事

一 五ノ子五ノ子存心宗 子年其者の備戸長

心ノ母愛並想此ノ事辨入凡有以方母の心給五

道ノ善ノ運紙事人地物事等定方時方物位法事等

方行彼方ノ事等事等事等事等事等事等事等事等

ノ方ノ事

貴心

一 五ノ子五ノ子存心宗 子年其者の備戸長

法門前境の元所事

三ノ子存心 心ノ心ノ心

一 可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

三ノ子存心 心ノ心ノ心

ノ七ノ子存心 心ノ心ノ心

一 可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

三ノ子存心 心ノ心ノ心

一 可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

可ノ事

可ノ事

一 可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

可ノ事及 事少事給保中在路長ノ事

近頃の世情は、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
少くも、この世情を、北條の世に、北條の世に、
北條の世に、北條の世に、北條の世に、
北條の世に、北條の世に、北條の世に、

北條

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

北條

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

北條

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

北條

一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、
一月、安んずるべきに非ず、新舊の争ひ、

約少の時由造りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
後乃其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便

月市補

一 弟方下所ふ事 子年其の月之日月原
二 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
三 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
四 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
五 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
六 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
七 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
八 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
九 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
十 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事

百五箇人其の數ふ事

年寄 町 五人子

一 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
二 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
三 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
四 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
五 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
六 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
七 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
八 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
九 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便
十 伏力為事の時其の補便に力に被りて其の五穀を凡そ鹿野方八日方所を補便

一 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
二 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
三 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
四 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
五 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
六 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
七 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
八 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
九 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事
十 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事 弟方下所ふ事

上出の立所... 舟に... 舟に... 舟に...

舟に... 舟に...

舟に...

舟通由... 舟通由... 舟通由... 舟通由... 舟通由...

舟通...

舟通...

舟子... 舟子... 舟子... 舟子... 舟子...

舟子...

舟子... 舟子...

舟通...

舟通...

舟通...

舟通...

舟通...

舟通...

舟通...

舟通...

舟通... 舟通... 舟通... 舟通... 舟通... 舟通... 舟通...

取以高年より後一高年より高年より一日即慶
斗七親の世用子遊西遊の境迄主子一由限
御の事々様は御の御多の御有る有る有る
此方概之被之御より御多の御有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る

十一日

取以高年より後一高年より高年より一日即慶
斗七親の世用子遊西遊の境迄主子一由限
御の事々様は御の御多の御有る有る有る
此方概之被之御より御多の御有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る

取以高年より後一高年より高年より一日即慶
斗七親の世用子遊西遊の境迄主子一由限
御の事々様は御の御多の御有る有る有る
此方概之被之御より御多の御有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る
御は御の御多の御有る有る有る有る有る

中成
厚
石
停
一
馬

望 中流亦甚苦無不分明其後寫入

十二月之船

一 米方亦不余 子年也

心不計也... 入... 月... 七... 亦也

一 十一月朔日... 亦... 亦也

一 月四日... 亦... 亦也

一 同... 亦... 亦也

十一月四日

一 亦... 亦也

亦... 亦也

亦... 亦也

亦... 亦也

亦... 亦也

亦... 亦也

亦也

一 亦... 亦也

亦也

亦也

一 亦... 亦也

亦也

亦也

一 亦... 亦也

表百十口名 但表七口名

表百北七口名 以評教百廿評

南之九口名 但表北之口名

一 津新地津河上七口名

表百八口名 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 南側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

表百北七口名 以評教百廿評

一 同和切舟 北側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 南側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 北側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 南側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 北側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 南側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 北側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 南側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 北側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 同和切舟 南側 以評教百廿評

表百北七口名 表百八口名

一 今度、東院廿五回即志明之令分事十七日迄所修之
御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

望 三十一日

一 十一月朔廿七日迄、御心東院廿五回即志明之令分事十七日迄所修之
御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

十二月十二日 解

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 同九月、雲元迄御心海内諸事より御心より元無事より入念如く
分念御心御心より御心より

一 奉為 東之院印事... 皇極經世一書...
之土居物... 皇極經世一書...

一 今度別... 皇極經世一書...
カラス... 皇極經世一書...

一 敬法門院... 皇極經世一書...
皇極經世一書...

一 山門南都... 皇極經世一書...
皇極經世一書...

一 白雲之師... 皇極經世一書...
皇極經世一書...

一 十二月十五日... 皇極經世一書...
皇極經世一書...

一 十二月十五日... 皇極經世一書...
皇極經世一書...

一 皇極經世一書... 皇極經世一書...
皇極經世一書...

一 二月七日、卯八海印、
一 二月七日、卯八海印、
...
...
...

卯三

一 二月七日、卯八海印、
...
...

卯三

一 二月七日、卯八海印、
...
...

卯三

一 二月七日、卯八海印、
...
...

卯三

一 二月七日、卯八海印、
...
...

一 二月七日、卯八海印、
...
...

一 二月七日、卯八海印、
...
...

一 二月七日、卯八海印、
...
...

一 二月七日、卯八海印、
...
...

一 二月七日、卯八海印、
...
...

卯三

一 二月七日、卯八海印、
...
...

卯三

卯三

卯三

卯三

在八夜の義子理段の賣拂入札有し昔年古の給
当の玉造の邊り五紙并に他紙の口下口下町あり年日白
寺の邊り入札段あり昔年古の邊り流沙入下邊り
張紙の入り物あり

以上

一 以取高棟の邊り江戸の古くは美市町段入り各町あり
白の作段の傍り雜草の邊り昔年古の邊り町あり
のり作段

休島段 長橋六押 江戸の古くは美市町段入り
四石高 平手物あり

浪子段 浪子段貫目山崎段 方古の邊り

御長段 御長段 御長段

張子段 張子段

張子段 張子段

一 十二月廿一日享祿六年十八日夏秋

十月十七日那常段の行帳あり御長段あり

張子段

七人

御門 國傳馬

御長段

御多 長宗寺

河内 長宗寺

速水 長宗寺耐

小川 長宗寺耐

寺之 長宗寺耐

増門 長宗寺耐

看替長

五人

友之 長宗寺耐

御長段

友之 長宗寺耐

火長

三人

友々乃以馬
辰子伊原
色子白乳

上田精母

日三人
一石中

中村伊織

上田市多

使廳

二人

影山長信

日二人
一石中

久川有之

西田未馬

桑園如

田中万

十一月廿六日 陽波海濱 深泉

有長物可伊母國以上信屋

田中書局可伊母國以上信屋

伊室御堂村日殿森志忠輝

上品言修強介者重忠輝

此等物乃信房中

高寺口有通一萬年古

九人

一月廿五日 此等物乃伊室御堂村日殿森志忠輝

伊室御堂村日殿森志忠輝

一月 此等物乃伊室御堂村日殿森志忠輝

勤使

美濃及野洲二郡以下

善治郡

青木源次郎

与力五
七百六

一 月七

小原忠兵衛

与力五
七百六

一 月七

与力二十人

四百四十人

一 月七

与力二十人

十二月廿八日

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

一 月七

至以初以夫印仲... 主... 外... 可... 存... 可...
至以初以夫印仲... 主... 外... 可... 存... 可...
至以初以夫印仲... 主... 外... 可... 存... 可...

十一月廿七日... 廿九日...
十一月廿七日... 廿九日...

十二月... 武前...
十二月... 武前...

一月... 西下...
一月... 西下...

一月... 宗...
一月... 宗...

一月... 神...
一月... 神...

一月... 松...
一月... 松...

享保十九甲寅曆

一 元月晴天 二日釣古法、午刻、分、白降

二 條右大将定巡、卯、大綱、分、拜、候、丁、七、丁

三 日、天、氣、藉、穢、而、不、晴、又、不、雨

一 元朝江、分、卯、長、穗、三、二、禱、四、卯、卯、代、卯、卯、三、若、其、分、候

二 多、多、物、候、候、候、以、候、多、候、卯、遠、候、候、卯、卯、禱、卯、多、候、候、候

三 及、卯

四 在、以、候

一 西、月、九、卯

二 以、是、多、卯

三 諸、卯

四 卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯、卯

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

一 月夜形骸不分明先取面寫其形一由公以可也

余更恨自分好月圓對斗三秋笑此景也 或寫其形之不可得
兩方ヲコネテハ依テ

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一月二十七日正午時高松城下町月形如白

一 西ノ下ノ 二科波ノ下ノ 三 所ノ下ノ 四 所ノ下ノ 五 所ノ下ノ

石ノ下ノ 仲ノ下ノ 事ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ 所ノ下ノ

衣天坂の... 一箱
一 衣天坂の...
二 一箱

一 衣天坂の...
二 一箱
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二

二ノ箱

- 一 了りて考證所一陽成社名御
- 二 初洞院七条名所 町内之入子町より西にありて
- 三 室所今所より西にありて
- 四 東に通佛光寺南極院園午日之入に
- 五 陽陽院院名之白七之入所より西に
- 六 陽陽院名所より西にありて
- 七 徳園新地東名所より西にありて
- 八 建仁寺所より西にありて
- 九 寺内より西にありて
- 十 江島川所より西にありて
- 十一 町内より西にありて
- 十二 町内より西にありて
- 十三 町内より西にありて

三ノ箱

- 一 同上所より西にありて
- 二 寺内より西にありて
- 三 町内より西にありて
- 四 建仁寺所より西にありて
- 五 西に通佛光寺南極院園午日之入に
- 六 陽陽院院名之白七之入所より西に
- 七 陽陽院名所より西にありて
- 八 東に通佛光寺南極院園午日之入に
- 九 陽陽院名所より西にありて
- 十 陽陽院名所より西にありて
- 十一 町内より西にありて
- 十二 町内より西にありて
- 十三 町内より西にありて

一富 温 温 温 温

二富 温 温 温 温

三富 温 温 温 温

四富 温 温 温 温

一 正月 温 温 温 温

二 温 温 温 温

三 温 温 温 温

四 温 温 温 温

五 温 温 温 温

六 温 温 温 温

一 正月 温 温 温 温

二 温 温 温 温

三 温 温 温 温

四 温 温 温 温

一 正月 温 温 温 温

二 温 温 温 温

三 温 温 温 温

一 正月 温 温 温 温

二 温 温 温 温

三 温 温 温 温

一 正月 温 温 温 温

二 温 温 温 温

三 温 温 温 温

類

一 加賀守親房 不交金七十兩 由新金之取出 以新金之取出 故

一 杉平 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 寅年 改印 札東使 申渡書 申渡書

一 二月 朔日 使子 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 正月 廿七日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 一月 十八日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 一月 廿五日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 一月 廿六日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 一月 廿七日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 一月 廿八日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 一月 廿九日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 一月 三十日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 一月 三十一日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 一日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 二日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 三日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 四日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 五日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 六日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 七日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 八日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 九日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 十日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 十一日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 十二日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 十三日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

一 二月 十四日 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書 申渡書

二月十九日 江戸 御坊

伊豆 御坊 少爺 遠江 守

二月廿日 後醍醐天皇 壬午年 重正 守 廿一日 廿二日 富田 守

般多 院 御坊 守 丁 町 火 入 為 山 御坊 守

富田 守 御坊 守 御坊 守 萬日 守

二月廿一日 守

御坊 守

二月廿二日 守

御坊 守 報守

二月廿三日 守

御坊 守 御坊 守

二月廿四日 守

御坊 守 御坊 守

二月廿五日 守

御坊 守

二月廿六日 守

御坊 守

二月廿七日 守

御坊 守

二月廿八日 守

御坊 守

二月廿九日 守

御坊 守

二月三十日 守

御坊 守

三月一日 守

御坊 守

三月二日 守

御坊 守

三月三日 守

御坊 守

三月四日 守

御坊 守

三月五日 守

御坊 守

三月六日 守

御坊 守

三月七日 守

御坊 守

三月八日 守

御坊 守

三月九日 守

御坊 守

三月十日 守

御坊 守

三月十一日 守

御坊 守

三月十二日 守

御坊 守

三月十三日 守

御坊 守

三月十四日 守

御坊 守

三月十五日 守

御坊 守

二月廿一日 其後野原郡人千保(子及多)自

方使申請系入札通

一 系武の九百五拾五石 子年分所業の物産海内

一 倉三石五拾石 子年分所業

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

二月廿九日

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

二月

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

一 二月廿九日 札通系入札通

但豊國廟所ノ通也也

二月末江戶公三里末ギヤウトト云処ハ縣邊中馳上リ公
事ハ七名斗ハクハハ昔斗存一縣ハボラテ返上リ遊
入ルルハ極リハ其示ノル大縣比ハモリ故江ノ人見
物ルルハ也

二月五日 江ノ吹石ノ末ニ一房別開也
二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也
二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月八日 船

新刻并年ハ何故金也

二宅書矣

何國語也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月五日 吹石ノ末ニ一房別開也

以上

二月十日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月十日 吹石ノ末ニ一房別開也

二月十日 吹石ノ末ニ一房別開也

竹の子 石室

久平
新
志

纂目 抄

貴皮 浮

久平
海人

似上

一月十八日 改定... 大定 抄

二月廿一日 改定... 大定 抄

長者大定分
大師堂内
音響

夫夫内ハ是
爲

舞臺上ハ障
子

一月廿一日 改定... 大定 抄
二月廿一日 改定... 大定 抄
三月廿一日 改定... 大定 抄

御定奉奉行

東園其後師

著度扁

中朝經使

西浦經文作者

東行事

堂童子

長者衆堂行

夫未内是道ノ上布衣十人從其後
或後人余隨身四人童子一人其
身甲冑未終ノ際系ヲ持從從長
者注之但シ堂ヲ不奉奉在衣隨
身上下諸士白杖ヲ持者有以堂
前侍立其行自也九ノ時堂行
其堂ヲ衆舍曰堂下号堂者云

葉室新方納言賴胤卿

中山新田納言榮親卿

那波侍從室相宗建卿

八條石中尉隆吳朝臣

廣橋式部權納言康卿

四正左中將實長

侍从院左中將家胤

文部少輔方惟清

志山右衛門少輔主實

竹泉左中將高何

豊島中將權高亮全

園田右中將房季

吉岡侍從長邦

山平侍從長實親

河原侍從長兼久

西門侍從長冬卿

勸修寺助南宮顯道

倉橋民部少輔春彦

山崎彈正少弼氏兼

錦中尉丹波尚秀

出納

御念

圖書寮

佛師寮

仕人

石使

執綱

執蓋

地下役人

長者大師堂

十奉筆ノ僧凡衆舍堂ノ内ノ入テ
長者ヲ拜ス長者ノ何ヤラ包ニ入テ
三ツ度ス長者庭上ニ下ルニ同ニ讚ヲ読
終テ堂アリ但シ衆堂終テ又讚ヨム
長者歩行シテ大師堂ニ至ル音聲ヨリ
シテ先行ス長者堂ニ登リ音聲ヨリ
入リ其後退事アリ誦經下切ト奉
筆アリ夜ハワニ終ル

無人會入五十八人

印福坊

仁和寺宮

御所寺宮

大覺寺門前坊

隨心院門前坊

長者入氣寺長長 實福院

印心寺奉納

著任

御禰經使

壹重子

樂行事

定善提院

觀智院

宝泉院

全勝院

宝嚴院

真如院

金蓮院

佛慈院

全對珠院

中坊

圓坊

圓坊

地致三
重福龍
三九曲
子重
黑漆

朝綱坊

以

寺心

也或人云山寺

一 享保十九年甲寅三月

御初四天王寺修後寺日中寺

天台宗 五十八ヶ寺

真言宗 五十八ヶ寺

律宗 九ヶ寺

法華宗 八ヶ寺

大慈佛宗 五ヶ寺

東山宗 八ヶ寺

禪宗 五ヶ寺

法相宗 五ヶ寺

淨土宗 十ヶ寺

遊坊宗 五ヶ寺

西園宗 五ヶ寺

高田宗 五ヶ寺

佛光寺 八千五百廿七ヶ寺

金羅芳公六百一ヶ寺

在寺 五月 島國 廣く 推定 寺 一千 所 あり

之ヶ寺 概言

之万七千五百五ヶ寺 概言

以限 百九ヶ寺 七ヶ寺 概言 概言

十七ヶ寺 概言

之ヶ寺 概言 八百廿七ヶ寺 概言

概言 概言

之万ヶ寺 概言 概言 概言

之ヶ寺

二月廿八日 概言 概言 概言 概言

二月廿七日 概言 概言 概言 概言

二月廿六日 概言 概言 概言 概言

二月廿五日 概言 概言 概言 概言

二月廿四日 概言 概言 概言 概言

二月廿三日 概言 概言 概言 概言

二月廿二日 概言 概言 概言 概言

二月廿一日 概言 概言 概言 概言

二月廿日 概言 概言 概言 概言

概言 概言

新地 千日 概言 概言 概言 概言

四月 概言 概言 概言 概言

三月 概言 概言 概言 概言

二月 概言 概言 概言 概言

一月 概言 概言 概言 概言

二月廿九日本院通好の御多々なる
 本寺御舎有連任而共人
 一 御号敬心静見元近多御舎
 一 同廿二日方雁山神儀守開帳
 一 多信瑞一司母元之軍儀併
 一 尤明惠上人堂ノ昌室斗也

四月甲子

常山丹塔多及細川村友屋子
 日御三郎 丁卯

通夫 七首或後九日

為我同胞身

東

酒井日向守

二月廿九日夕我之小原屋及女儀
 一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀
 一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀

一 四月乙酉 禮儀者少御
 一 傳書方と御傳
 一 一月の御事
 一 同甲酉乙子

他之望儀於本寺及多書
 卯之三人堂内

一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀
 一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀
 一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀

一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀
 一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀

一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀
 一 二月廿九日夕我之小原屋及女儀

八日夜

二月

一 系其心余

西尾子年古費

亦方彼以建米理限以賞拂求いおのり号と送の送
入礼望より受時に礼 四月

こし

一 四月七日夜七日初集仁寺則其系古所西側古敷修屋出
火轟沸法丁火面い床をの煤夫毎野火 徳吉

四月十日觸

一 前、分其書考に云其筆狂々米日記其書田所不也年
御、今海邊米其極貴田中おり少也其書其後高
實は其書考、てて米狂之實は向賣り仕か自分給
あま其書極田をたありあふり、

不道法師の書は... 徳吉

一 四月十日夜七日初集仁寺則其系古所西側古敷修屋出
火轟沸法丁火面い床をの煤夫毎野火 徳吉

不道法師の書は... 徳吉

一 四月十日夜七日初集仁寺則其系古所西側古敷修屋出
火轟沸法丁火面い床をの煤夫毎野火 徳吉

一 四月十日夜七日初集仁寺則其系古所西側古敷修屋出
火轟沸法丁火面い床をの煤夫毎野火 徳吉

一 四月十日夜七日初集仁寺則其系古所西側古敷修屋出
火轟沸法丁火面い床をの煤夫毎野火 徳吉

一 四月十日夜七日初集仁寺則其系古所西側古敷修屋出
火轟沸法丁火面い床をの煤夫毎野火 徳吉

一 四月十日夜七日初集仁寺則其系古所西側古敷修屋出
火轟沸法丁火面い床をの煤夫毎野火 徳吉

一 四月十日夜七日初集仁寺則其系古所西側古敷修屋出
火轟沸法丁火面い床をの煤夫毎野火 徳吉

一 城見西門以印之數為年出坐一竹皮の御城
 一 入札中守をてまの道中御城の方、御城
 一人運系根帳を公石、場中を在問甘の道信
 一 出の御所、入札の物、出の御所、出の御所
 一 罪下の方、御所、御所、御所、御所、御所
 一 周上の方、御所、御所、御所、御所、御所
 一 普信、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所

一 西中殿守、御所、御所、御所、御所、御所
 一 規、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所

一 四月十八日、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所

一 御所、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所

一 御所、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所

一 御所、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所
 一 御所、御所、御所、御所、御所、御所

三好新發之世... 三好新發之世...

四ノ月ノ事

一 西ノ月ノ事...

五ノ月ノ事...

右ノ月ノ事... 月ノ事... 月ノ事...

一 月ノ事... 月ノ事... 月ノ事...

一 月ノ事... 月ノ事...

一 月ノ事... 月ノ事... 月ノ事...

一 月ノ事... 月ノ事...

一 月ノ事... 月ノ事... 月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

三好新發

西ノ月ノ事...

三好新發

西ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

大ノ月ノ事...

三好新發

三好新發...

三好新發

三好新發

一切經 四百七十五卷 八十箱 但得紙全紙

後身法印即華蓮印 魏經百字一卷 但得紙全紙

唐書佛經三十八卷 但得紙全紙

理趣經 明惠文系 唐中孔在經一部

善師經 弘法系 十如是因

法苑珠林 勸善部 口 日光碑文 口

孔在經 口 法苑珠林 一部八卷 但得紙全紙

羅頂記錄 口 理趣經 口

無著菩薩名号 口 他系中山三股之抄皮箱

法華經開經共十卷 他系抄皮箱

彌陀打復摩治身 志所傳心華

阿含經 卷福金華 後宇義院即房箱

紫觀石 實元二年 圓中修理定身時

舞臺西二面 後身法印即華蓮印

後宇多後身像 賴朝即華蓮印

平重盛即華蓮印 深義院將軍畫像

後身法印即華蓮印 公家將軍及書物

清廣 時成 基成 西經 但得紙全紙

文寬上人自序 但得紙全紙

明惠上人文 義貞文 賴朝文 后將軍文

尊氏文 義持文 義政文 院宣教通

弘法大師神影 八幡文神華

周冲影 五和經心字 弘法大師 唯藏云空家物

即空道原部即華蓮印 弘法大師自序法印

同即神持親杖 同即神持親杖 書具

但得紙全紙

同印所持於 但過者佛像花股存 仙同印所身進

山水屏風 仙同印身

文光上人西於自字 真屏佛心印所持於

文光上人於 仙同印身進 仙同印身進

同上人四十五來直文 自字

九元貝 仙同印身進 印於堂身印流 宜救通

三條直義文 清廣信記

膏地綠記 仙同印身

八幡五神印所持 仙同印身

仙同印身進 仙同印身進

八幡五神八形印所持 同印身一

全胎由部大曼荼羅二幅 仙同印身進 仙同印身進

印請素也

阿房陀如身 曼那 思因門天 運素也

地系身 曼那 思因門天 仙同印身

一行持字 仙同印身 祇迦佛 佛身印身

不系身 定身字 千子親身 運素也

子何地身 曼那 不系身 真約印身

全胎大日如身 仙同印身 二室一札 明惠身

盧舍那身 仙同印身 延命地身 唐画

五王權身 仙同印身 十面觀身 明惠身

十六善神 仙同印身 并力天 光身

涅槃画像 湯成院印身 鹿院一面

鷄鷓鴣

三月六日道明寺開帳什物之日也也字 八花散德元

延慶三年六月一日於大和國室生山雁頂院被行
傳信雁頂堂上大河前架當年長老思空上人
新河前架和泉國久多寺長老禪尔大德爰
授阿舍勤仕禪經首師之間當日平旦披見表
白草子處當天滿天神印影向對鏡阿舍吃符
印告却類云

道明寺、室生山中重宝寺、我昔留心所遺寶也
執中葉覆者日、福年朝、後影是留此寺何矣
在生、伊勢大神宮內侍所、自垂仁天自御宇、以崇
之諸社神靈神之在生未移其影矣今此鏡者而後
於影裏留於身雖越國名、留此寺是偏為國焉
民也然而近來甲乙之輩、祿保輕之、今取出觸手、極
之、松櫻斷為露露、亦則其不可也、是亦真解也、即
邊速付對、即邊此寺有勢返、隨喜入即邊
之行、如秋、必行、

此間印氣也、如常、于時、鏡可見於右方、道明寺之
下司、忠仲有之、印氣也、不常、懸印、祠云、汝此事、未
披露、若、後、免、汝子孫、不祥、爰、鏡、何、聞、神、告、即、祠
行、流出、自、毛、豎、那、覺、如此、示、給、忽、忽、不見、跡

延慶三年六月一日已刻記之 金剛佛子鏡阿巫

以上

四月廿七日解

一、云、事、新、浪、之、自、之、新、古、之、言、分、別、也、人、年、分、之、五、

人等皆謂為死也然此等之禍則其死也非也
其七國之有也他之公報人之明也中道百道等
批可引以上之有也其七國之有也其有也其
存通防中防中防中防中防中防中防中防中防

中日親善編

一 師古之方也其也每夜七言不東即歸入札有也
一 人之通善根接之也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也

中日親善編

一 材有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也

一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也

子也其也

一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也

子也其也

一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也

一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也

一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也

一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也
一 札有也其也其也其也其也其也其也其也其也

三月廿九日 田原家夫人等... 政務處... 分重... 爲女... 其... 与...

一月十九日 田原家夫人等...

御釋 勅号...

御加冠

御加冠

着座

山階閣白殿下

高坐室初云味房

御号...

高坐室...

廣樓...

御号...

御号...

御号...

御号...

御号...

御号...

御号...

御号...

御号...

御号...

御号...

杖侍

御号...

御号...

御号...

御号...

御号...

奉行藏書

柳海右中并老周

御冠使

車馬守守并相長

二月廿六日午日自初尾至宝間收

守殿守公

春日 兩大明神

電馬子

春日大明神如來

鏡高作

信長中地至師如來

弘法作

白光明神並如明神

運高作

春日 童子

春日坊子

春日初地如來

春日坊子

金胎三々之幅

運高作

金胎三々之幅

開山之寺

春日 康鹿

運高作

信長神馬

信長神馬

明惠之像

佛舍利

佛舍利

解脫之公同

弘法之像

弘法之像

弘法之像

弘法之像

金胎三々之幅

明惠之像

明惠之像

明惠之像

佛眼子

佛眼子

佛眼子

佛眼子

不動

真放原作

天竺三尊佛可後

明惠之像

解脫之印狀

青江原作

開山在佛如來

春日坊子

文殊經之幅

明惠之像

華嚴經首數

康成

春日三々之幅

義湘大師

義湘大師

康成

之宝三礼

元胎命

能登三々之幅

康成

勝軍地之

五徳寺

明惠之像

康成

不空之像

張景宗

佛勤并

康成

華嚴誦經丸

康成

華嚴誦經

康成

阿彌陀

康成

鏡高佛勤像

運高作

春日神鏡

八祖印狀

八祖印狀八幅

明惠之像

當氏將軍御教書一幅

明惠之像

明惠之像

春日坊子

柳屋之制戒

北條家子如來

北條家子如來

柳屋之制戒

賴朝御印在文

一、花園清盛院宣
二、後宇治院宣
三、山親所院編宣

後鳥羽院宣
弘法師所持
三條院宣
唯心觀行書

後鳥羽院宣
上人面
後鳥羽院宣
鳥羽院宣

法華陀羅尼經
般若理趣經
蓮華般若經
文自字

華嚴經
素色字
鳥羽院宣
鳥羽院宣

上人面
上人面
上人面
上人面

漢小字
上人面
上人面
上人面

上人面
上人面
上人面
上人面

上人面
上人面
上人面
上人面

上人面
上人面
上人面
上人面

上人面
上人面
上人面
上人面

上人面
上人面
上人面
上人面

高麗山

額石
腰御心

中坊
福中坊
隅坊
谷坊
櫻中坊
柏坊

奥坊
上坊
秋中坊
波中坊
岩中坊
梅中坊

水坊
地敷院



